

代 表 者

行 政 視 察 報 告 書

平成 30 年 1 月 30 日

各 会 派 代 表 者 殿

呉市議会議員

森 本 茂 樹
福 永 高 美

次のとおり行政視察したので報告します。

1. 視察期日

平成 30 年 1 月 14 日～平成 30 年 1 月 16 日

2. 調査項目

台湾 基隆市議会議長・市長表敬訪問、基隆市立安楽高級中学等視察

3. 参加議員

森本 茂樹、福永 高美

台湾 基隆市

【調査目的】

平成29年4月に台湾の基隆市との友好姉妹都市提携の議案を議決した。これを機に、教育・文化・スポーツ・観光・産業など様々な分野での情報交換及び交流発展を図ることを目的とする。

【基隆市の概要】

人口：372,019人（2016年1月）

世帯数：150,911戸（2016年1月）

■基隆市議会議長表敬訪問 議場及び基隆民意館見学

・対応者

基隆市議会議長	宋 瑋莉（ソン ウェーリー）氏
基隆市議会副議長	蔡 旺璉（ツァイ ウァン レン）氏
基隆市議会議員	莊 錦田 氏
基隆市議会議員	陳 江山 氏
基隆市議会議員	鄭林清良 氏

・調査期日

平成30年1月15日（月）10時～10時30分

■基隆市政府 市長表敬訪問

・対応者

基隆市長	林 右昌（リン・ヨウチャン）氏
基隆市慮長	王 榆森 氏
基隆市	観光・交流課の皆様

・調査期日

平成30年1月15日（月）13時～13時30分

■調査項目

基隆市の歴史・文化・産業について

・調査対応者

基隆市職員	副慮長	陳 智昌 氏
基隆市職員	文化資料課	郭 麗雅 氏
基隆市職員	観光行政課	蔡 慧婷 氏
基隆市職員	新聞課	錢 盛日 氏

- ・調査期日
平成30年1月15日（月）14時～15時

- ・調査内容

基隆市は台湾北部にある省轄市（日本の中核市に相当する。）である。台湾で2番目の貨物取扱量を誇る基隆港を抱え、台湾の貿易・物流の重要拠点である。観光では奠濟宮を中心に栄えた夜市（廟口小吃）が特に有名である。

台湾北部に位置し、三方を山に囲まれ、北は東シナ海を臨む地形となっている。戦前の日本が残した都市基盤を背景に、基隆港を中心とする港湾都市として発展した。また、その歴史から、スペイン、オランダ、日本との文化が融合した多様な景観を見ることができる。

■調査項目

基隆市立安楽高級中学視察

- ・調査対応者

基隆市安楽高級中学校長
基隆市安楽高級中学校PTA会長

- ・調査期日

平成30年1月15日（月）15時30分～16時

- ・調査内容

基隆における教育の状況などの説明をいただき、生徒の作品などを紹介いただいた。今後の交流についても懇談した。

【呉市での展開の可能性】

基隆市民は、日本に対して友好的である。基隆市の安楽高級中学と市立呉高等学校の交流も始まっており、お互いが信頼できる環境の中で交流する事が大切であると思った。

■調査項目

国立海洋技術博物館視察

- ・調査対応者

国立海洋技術博物館日本語通訳・説明員
行鎖推廣部公訳 呉 翎禎 氏

・調査期日

平成30年1月16日（火）9時～11時

・調査内容

国立海洋科学技術博物館（略称 海科館）は基隆市東側の八斗子地区にあり、西は八斗子，碧砂漁港，東は東北角海岸風景特定区に隣接している。テーマ館は海洋科学ホール，船舶及び海洋工程ホール，深海展示ホール，深海映像ホールなど，様々な角度から海に関する知識を紹介し，前衛なインタラクティブの展示品を通して，楽しみながら海洋科学，生態，文化を学ぶことができる。教育部に属し，展示，教育，研究，収集，レジャー娯楽機能を兼ね備えている。見学者の「海に親しみ，海を知り，海を大切にする」意識を喚起し，これらの永続的発展を使命とする博物館である。さらに，各エキシビション，教育，収集，研究活動により，海洋科学とテクノロジーの発展と応用，台湾の海洋文化の形成，海洋生態の変化及び人類と海との関係を提示，解説している。

【呉市での展開の可能性】

呉市にも年間約100万人を集客する呉市海事歴史科学館（愛称：大和ミュージアム）がある。基隆市の国立海洋科学技術博物館は教育部に属し，展示，教育，研究，収集などの活動を担っているが，呉市の海事歴史科学館の一部業務も市の産業部に属し展示，教育，研究，収集などを直営で担っている。また，館の名称に「海」や「科学」といった共通点も多々あることから，今後相互間の交流を図ることにより，姉妹館提携等の締結といった可能性を秘めている。

今後，基隆市と呉市が産業分野や文化教育においても発展が期待できる。また，広島空港からも台北への飛行機が就航しており，便利である点からも相互間交流が望めると思う。